

復興デザイン研究体

羽藤教授が基調講演

アーバンデザインCの設立を

セミナー

復興調査設計㈱とアジ
ア航測㈱が共同出資する
東京大学社会連携講座
「復興デザイン研究体」
のオープニングセミナー
『事前復興から考える中



基調講演した羽藤教授



パネル討論のもよう

国地方の新たな国土・都
市・地域デザイン』が29
日、広島市中区のメルパ
ルク広島であった。東京
大学大学院工学系研究科
の羽藤英二教授による基
調講演をはじめ、研究事
例発表やパネル討論が行
われた。

セミナーには定員10
0人を上回る約140人
が参加。冒頭、中国地方
整備局の笠原勤副局長が
祝辞で「復興デザイン研
究体では、これから様々
な地区に入って実際に活
動されるとおつかがいし
ている。そこで得られた
知見を事前復興という形
で、中国地方はもとよ
り、全国のこれからの地
方創生や人口減の具体的
な対応策として役立つこ
とを祈念している」と述

べた。

基調講演では、東京大
学大学院工学系研究科の
羽藤英二教授が『復興デ
ザインから地域デザイン
へ』をテーマに講演。東
日本大震災における被災
地復興の取組みなどを紹
介しながら、中国地方で
どのようにして復興デザ
インを地域デザインに展
開できるかを話した。そ
の中で、想定外に備えて
は「縦型組織を生かすた
めに、隙間なく議論す
る」ことが重要と指摘。
「そういった部分で復興
デザイン研究体が寄与で
きたらと思う」と述べ
た。また、縮退の時代に
おける復興デザインに対
する考え方を示すことも
に、地域デザインの時代
に向けては「対話ができ